

秋田県設計VEニュース

Vol.10 H20.5.21

◆ アドバイザー業務（農林2事業）の報告会を開催しました。

5月16日、農林2事業についてのVE報告会を開催しました。この2事業は当県の設計VEアドバイザーである横田尚哉氏（パシフィックコンサルタンツ㈱VEセンター長）にワークショップのリーダーをお願いして実施したもので、VEWSの成果はもちろん、WSリーダーからのノウハウ習得が大きな目的となっています。

今回、新たな試みとして、報告会の会場を対象事業を担当する事務所の会議室に設定しました。これは事業に関わる多くの職員にWSメンバーからのVE提案を聞いてもらい、出来るだけ多くの提案を設計に反映させて欲しいとの考えから行ったものです。

また、両事業とも受益者をWSメンバーに加えての実践で、メンバーだけでは得られない情報と使用者の生の声をVE提案に反映させています。

三種町外ノ沢地区の地域用水環境整備事業は基本設計（9千5百万円）に対して行ったものです。ため池補修と水環境整備の事業で、目標をコスト削減5%、価値向上120%としていましたが、洪水吐ルート変更+仮設道路変更という代替案はコスト縮減21%、価値向上率141%の提案となりました。

また、大仙市皆別当地区の経営体育成基盤整備事業は予備設計（7億4千6百万円）に対しての設計VEで、中山間地域のほ場整備事業です。用排水の合理化と維持管理の省力化という代替案で、コスト削減は目標値の10%、価値向上率は125%の提案となっています。



(外ノ沢地区 田口技術管理監の開会挨拶)



(皆別当地区 横田氏による提案・報告)

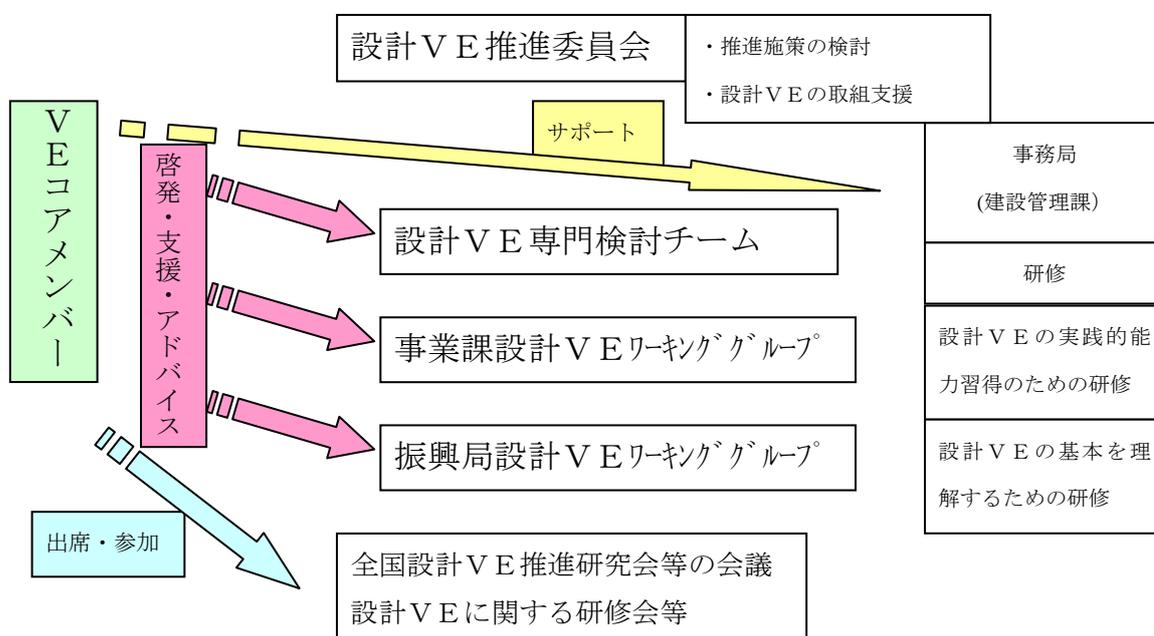


(外ノ沢地区 金澤農林部長による講評)

◆ VEサポート・コアメンバーを編成しました。

平成20年3月の「秋田県設計VE推進専門部会」で承認された『VEサポート・コアメンバー』を4月1日に編成しました。メンバーは本庁事業課と地域振興局建設部からの推薦により25名で構成しています。VEコアメンバーは事務局をサポートしながら次の事項を所掌することになります。

- (1) 各所属における設計VEの啓発活動
- (2) 設計VE実践における指導・助言・支援
- (3) 全国設計VE推進研究会等の会議や設計VEに関する研修会に係る事項
- (4) その他設計VE推進のために必要な事項



《設計VEの推進に関する基本方針とVEコアメンバーの役割》

◆ 設計VEが「第4期行財政改革推進プログラム」に。

秋田県では、平成20年度から22年度の行財政改革の基本指針となる「第4期行財政改革推進プログラム」に設計VEを位置づけ、事業コスト削減の拡大を図っていくことにしています。また、設計VEの実施件数を指標として掲げています。

指標名	単位	20年度	21年度	22年度
設計VE実施件数	件	20	25	30